

報道関係者の皆様へ

2006年5月吉日

<年中行事と和菓子>

6月16日は和菓子の日

そのルーツは、古くから伝わる「嘉祥 (かじょう)」という、お菓子が主役の儀式です。
この聞きなれない「嘉祥」と和菓子についてご紹介いたします。

■「和菓子の日」のルーツは「嘉祥」の儀式

嘉祥の由来は諸説あり、平安時代の仁明天皇の御代から始まる招福・厄除けの行事とも言われますが、はっきりしません。しかし、室町時代には毎年6月16日に行われるようになり、江戸時代には広く普及しました。明治時代にいったん途絶えましたが、昭和54年(1979)に全国和菓子協会がこの日を「和菓子の日」として復活させました。

■「嘉祥」と和菓子

嘉祥は嘉定とも書き、食べ物、とりわけ菓子が大事な役割を果たす行事であったようです。

朝廷や公家の間では嘉祥の日に食物の贈答などが行われていましたが、江戸時代に入ると、天皇から下賜^{かし}された米1升6合を菓子と取替えたり、1と6を足した数「7」にちなみ7種の菓子が下賜されたりするようになりました。これは現在虎屋に伝わる7種の「嘉祥菓子」の原形ともいわれています。

また武家においては、室町時代に流通していた宋銭、嘉定通宝の「嘉通」(かつう)が「勝」に通じるといって縁起ものとされ、6月16日嘉祥の日に嘉定通宝16枚で食べ物を買って食べたといわれます。

江戸幕府では嘉祥は重要な行事と位置づけられており、江戸城の大広間に饅頭・羊羹など約2万個を並べ、将軍から大名・旗本へ菓子を賜ったという記録もみえます(『嘉定私記』)。

庶民の間でも嘉祥の日には菓子などが食べられていました。井原西鶴『諸艶大鑑』^{しよえんおおかがみ}(1684)には、京都島原の嘉祥喰いとして虎屋の羊羹など16種の食べ物が用意されたと記されています。

<参考文献>

- | | |
|------|------------------------|
| 奥野高廣 | 『皇室御経済史の研究』 |
| 富岡鐵齋 | 『嘉定菓子図』 |
| 虎屋文庫 | 機関誌『和菓子』より鈴木晋一著「嘉定と菓子」 |
| 中山圭子 | 『和菓子ものがたり』 |
| 青木直己 | 『和菓子の今昔』 |

<和菓子の日になむとらやのお菓子>

ふく 福こばこ <同封写真参照>

道明寺製「なりひさご」、煉切製「はね鯛(紅白)」、「御目出糖」の三種を組み合わせた縁起の良いお菓子です。

価 格:1箱 1,680円(税込)

販売期間:6月10日(土)~6月16日(金)

販 売 店:赤坂本店、銀座店、日本橋店、新青山ビル店、帝国ホテル店、御殿場店、
横浜ランドマークプラザ店、横浜そごう売店、アトレ目黒1売店、玉川高島屋 S. C. 売店、
新宿伊勢丹売店、一条店、四条店、京都高島屋売店、京都大丸売店、京都伊勢丹売店

かじょうまんじゅう 嘉祥饅頭 <同封写真参照>

3種(黄、紅、利休)の小さなお饅頭です。それぞれに嘉定通宝の朱印、招福の焼印、和菓子協会マークの焼印(餅菓子などを作る時に使う杵や饅頭をふたつに割った形を連想させるデザイン)を押してあります。

価 格:化粧箱3個入 998円(税込)

販売期間:6月10日(土)~6月16日(金)

販 売 店:赤坂本店・銀座店・一条店・四条店など直営店の他、
首都圏・京阪神・名古屋地区の有名百貨店内とらや売店にて

かじょうむしろうかん 嘉祥蒸羊羹 <同封写真参照>

ほのかな黒砂糖の風味と、煉羊羹とは違う独特の歯ごたえをお楽しみ下さい。

価 格:1本 2,100円(税込み)…配送可

販売期間:6月1日(木)~6月16日(金)

販 売 店:赤坂本店・銀座店・一条店・四条店など直営店の他、
首都圏・京阪神・名古屋地区の有名百貨店内とらや売店にて

かじょう 嘉祥菓子

かわらけ
土器に盛り付けられた7種類の嘉祥菓子は、江戸時代末期、御所にお納めしていたものを原形にお作りしています。

価 格:7ヶ盛 2,447円(税込)

あさじあめ (浅路飴(求肥製))、伊賀餅(餅製・白餡入)、ききょうもち 桔梗餅(外良製・御膳餡入)、げんじませ 源氏籬(湿粉製)、
豊岡の里(押物製・餡餡入)、味噌松風(焼物製)、武蔵野(湿粉製)

販売期間:6月16日(木)

販 売 店:赤坂本店、銀座店、日本橋店、新青山ビル店、帝国ホテル店、御殿場店、
横浜ランドマークプラザ店、横浜そごう売店、アトレ目黒1売店、玉川高島屋 S. C. 売店、
一条店、四条店、京都高島屋売店、京都大丸売店、京都伊勢丹売店

予約承り期間:6月1日(木)~ * 予約は各店舗で承ります。(お渡し日の4日前までにご注文ください。)

★上記の内容を掲載・放送して下さる場合…

読者・視聴者の皆様からのお問い合わせ先として **フリーダイヤル 0120-45-4121** として下さい。

★この件に関するお問い合わせ・取材は… 株式会社 虎屋 広報部 03-3408-4128 までお願い致します。

<http://www.toraya-group.co.jp/>